

子どものICT利活用能力の取得・向上に関する保護者の意識に関する調査研究

安藤満佐子(総務省 情報通信政策研究所 調査研究部 主任研究官)

- これまで明らかにされることが少なかった、子どものICT利活用に係る保護者の現状認識や子供への期待・不安、並びに家庭における対応状況等を把握することとして、
- 総務省情報通信政策研究所と、東京工業大学 清水康敬名誉教授、尚美学園大学 小泉力一教授との共同研究として、本調査を実施
- 調査方法：小学生～高校生までの子どもを持つ保護者を対象とするWebアンケート
- 調査期間：平成26年2月26日～3月3日(予備調査) / 3月4日(火)～3月7日(金)
- サンプル：下記4,800サンプルを調査会社Webアンケートモニターより抽出

サンプル区分	サンプルサイズ
小学1年生～高校3年生(12学年)の各学年の第一子(男子)をもつ保護者	200 × 12 = 2,400 (各200サンプル・学年別12カテゴリ)
小学1年生～高校3年生(12学年)の各学年の第一子(女子)をもつ保護者	200 × 12 = 2,400 (各200サンプル・学年別12カテゴリ)
合計	4,800

※Web調査のため、回答結果に一定の偏りがある可能性がある点に留意が必要

1) 子供の情報通信利用状況

- 情報通信端末利用率について、ノートパソコン、通信機能付きゲーム端末は全体で5割以上(51.6%)が利用
- ノートパソコンは高校生では62.5%、通信機能付きゲーム端末は小学校高校生で63.4%が利用

[比率の差]		N		子どもが現在情報通信端末を利用している割合							
				携帯電話・PHS	スマートフォン	タブレットパソコン	ノートパソコン	デスクトップパソコン	ゲーム端末(ニンテンドーeDS、PSP等)	通信機能のあるゲーム端末(PlayStation touch、通信機能付Walkman、など)	通信機能のある音楽プレイヤー(iPod touch、通信機能付Walkman、など)
全体		4800		35.8	38.2	15.6	51.6	32.6	50.7	17.9	
子どもの学年	小学校1～3年	1200		33.9	24.0	12.8	40.2	24.4	46.4	5.8	
	小学校4～6年	1200		37.5	25.1	17.6	49.2	30.6	63.4	12.7	
	中学生	1200		38.8	35.6	18.6	54.6	37.5	54.1	24.1	
	高校生	1200		33.0	68.3	13.4	62.5	37.9	38.8	29.1	

2) 情報通信端末の利用開始時期

- 子どもが初めて情報通信端末に接触する年齢は、学年が下がるほど早期化
- 子どもが小学校入学前に端末を利用開始する割合は、ここ3年程度で大きく上昇

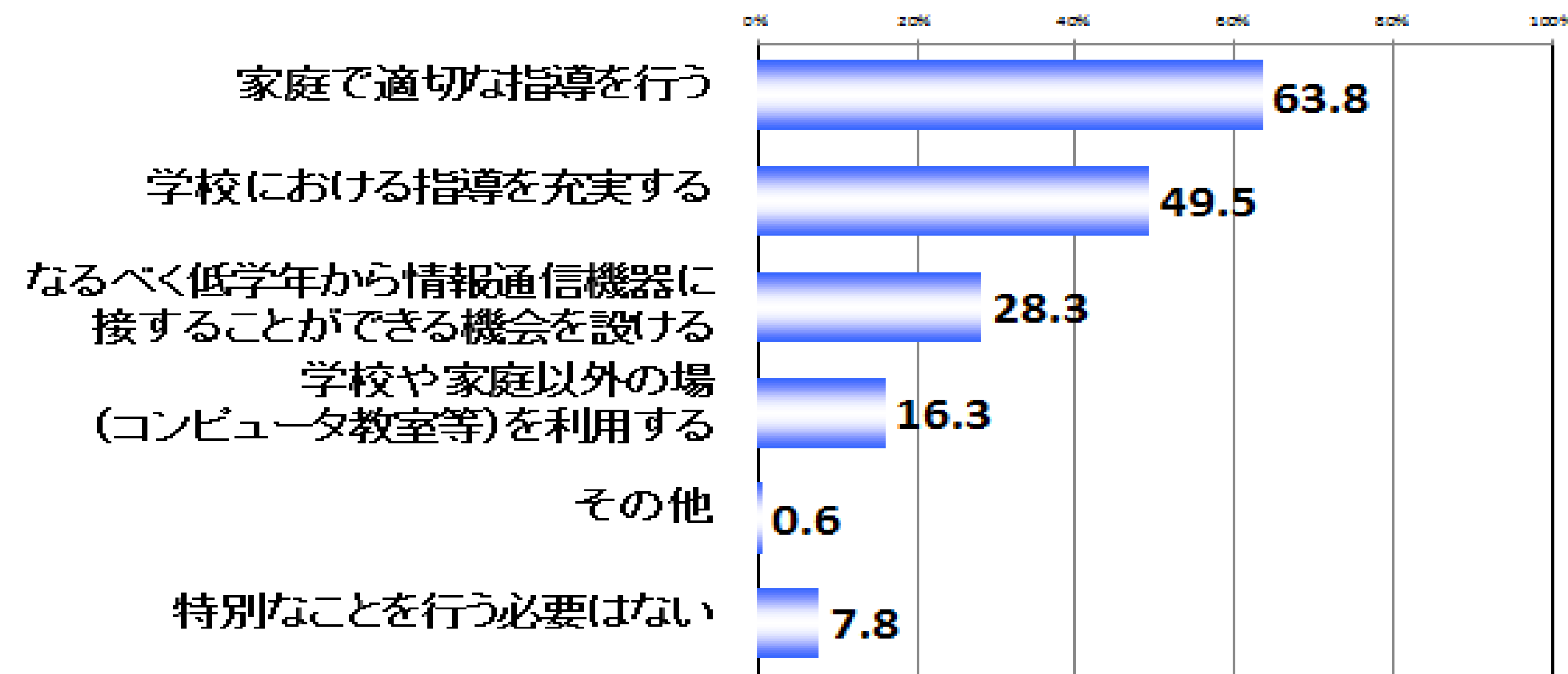
[比率の差]		N		各情報通信端末を子どもが小学校入学前に利用開始した割合							
				携帯電話・PHS	スマートフォン	タブレットパソコン	ノートパソコン	デスクトップパソコン	ゲーム端末(ニンテンドーeDS、PSP等)	通信機能のあるゲーム端末(PlayStation touch、通信機能付Walkman、など)	通信機能のある音楽プレイヤー(iPod touch、通信機能付Walkman、など)
全体		4800		5.3	2.0	1.3	8.1	9.8	12.5	1.3	
子どもの学年	小学校1年	400		15.8	10.3	6.5	21.8	17.8	21.5	3.3	
	小学校2年	400		12.8	6.5	3.7	16.0	16.0	19.8	2.5	
	小学校3年	400		8.2	3.0	2.3	10.0	11.3	15.0	2.0	
	小学校4年	400		4.5	1.0	0.3	10.8	6.8	16.3	1.8	

子どものICT利活用能力の取得・向上に関する保護者の意識に関する調査研究

3) 子どものICT利活用能力取得に必要なこと

- 子どものICT利活用能力獲得のために必要なこととして、家庭での適切な指導を挙げる保護者が6割以上(63.8%)と最も多く、学校における指導の充実(49.5%)を上回る

■ 子どもが将来、ICT利活用能力を身につけるために必要な事項(N=4355)



4) 家庭における指導状況

- 家庭において日常的又は時々子どもに対する指導を行っているとする保護者の割合は 約5割(50.6%)
- 保護者の性別では、男性で54.9%、女性で44.8%が家庭において日常的又は時々子どもへの指導を実施

			子どもへのICT利活用に係る指導状況						
			日常的に行っている	時々行っている	現在ほとんど行っていないが、かつて行っていたことがある	全く行っていない	自分は行っていないが、配偶者は行っている、または、現在ほとんど行っていないが、かつて行ったことがある	その他	
									N
全 体		4800	7.8	50.6%	42.8	21.0	24.0	3.9	0.4
性別 保護者	男性	2782	7.8	54.9%	47.1	21.5	22.2	1.4	0.1
	女性	2018	7.9	44.8%	36.9	20.4	26.6	7.4	0.8

5) 家庭における指導の内容

- 機器・アプリ操作等の指導を行っている割合は、全学年を通じて4割～6割程度
- 子どもが高学年になるにつれ、マナー・リスク等に関する指導を実施する保護者の割合が高まる傾向

[比率の差] 全体 + 10 ポイント 全体 + 5 ポイント 全体 - 5 ポイント 全体 - 10 ポイント		子どもにICT利活用に係る指導を行っている場合の指導内容						
			パソコンやブラウザの操作や設定方法について説明した	アプリケーションの使い方について説明した	法令やマナーについて説明した	ウイルス感染の可能性について説明した	ネット上に悪意のある人もいることについて説明した	その他
全 体		3625	55.4	45.2	37.5	50.8	54.5	1.0
保護者性別	小学校1～3年	712	53.7	42.4	21.5	25.6	37.2	2.4
	小学校4～6年	946	57.6	42.8	34.0	43.9	53.6	0.7
	中学生	980	54.1	47.6	42.1	60.9	60.4	0.7
	高校生	987	55.7	47.3	47.6	65.8	61.9	0.5

6) 保護者自身への指導の要望

- 子どもへのICT利活用に係る指導のため、自身への指導を望む保護者は5割以上(53.4%)
- ICT利活用を中心とした仕事をしている保護者、仕事で常時ICTを利活用する保護者も、4～5割は指導を要望

		N	子どもへのICT利活用に係る指導のため自身に対する指導を望むか	
			そう思う	そう思わない
			%	%
全 体		4800	53.4	46.6
保護者 性別	男性	2782	45.7	54.3
	女性	2018	64.0	36.0
保護者の 仕事での ICT活用 状況	勤務先において、コンピュータやインターネットの利活用を中心とした仕事をしている(プログラマーやシステムエンジニアなど)	384	40.9	59.4
	勤務先において、コンピュータやインターネットを常時利活用して仕事をしている	1167	48.5	51.5
	勤務先において、コンピュータやインターネットを必要に応じて利活用して仕事をしている	1260	51.6	48.4
	勤務先においては、コンピュータやインターネットを仕事で使うことはほとんどない	776	57.6	42.4
	その他	21	47.6	52.4
	無職／専業主婦(主夫)	1192	61.5	38.5

【比率の差】

全体 + 10 ポイント

全体 + 5 ポイント

全体 - 5 ポイント

全体 - 10 ポイント